

令和元年度村政懇談会追跡調査表(3月末現在)

地区名	番号	質問内容	回答者	担当課	分類	対応状況			備考
						令和元年9月末現在	令和元年12月末	令和2年3月末	
石神	1	美原・東下水水利組合への補助金の見直しについて	産業部長	産業部	農業政策課	③継続検討等	5回協議を実施し、今までの経緯について調査を行っている。	6回協議を実施。多面的機能支払交付金等を活用した支援を検討中。	7回協議を実施。多面的機能支払交付金等を活用した支援を検討中。
石神	2	米消費の拡大について	産業部長	産業部	農業政策課	③継続検討等	農業者・JA・飲食店との協議を継続している。	農業者・JA・飲食店との協議を継続している。	農業者・JA・飲食店との協議を継続している。
石神	3	戦前の写真の(仮称)歴史と未来の交流館	教育長	教育部	生涯学習課	①当日終了	交流館開館後は、資料収集や寄贈なども積極的に進めていく。		
石神	4	学校へのスマートフォン持ち込みについて	教育長	教育部	指導室	①当日終了	既に学校へのスマートフォン持ち込みを禁止している。		
石神	5	亀下区及び緑ヶ丘区をモデル地区とした事業の進捗状況について	村長	村民生活部	地域づくり推進課	③継続検討等	両地区の活性化等を図るため、現在「地域おこし協力隊」を募集中であり、10月採用予定である。	10月から地域おこし協力隊を1名採用し、モデル地区で活動を始めている。亀下区では運動会で模擬店を出し、会の盛り上げをサポートした。緑ヶ丘区では、各家庭を訪問し、困りごとや要望等についてのアンケートの配布・回収を行った。今後その結果もとに、事業を計画していく。	アンケート結果をもとに、両地区の現状・問題点について新しい視点から調査・分析し、令和2年度からの地域づくり・地域活性化に向けての実践的な取り組みを行うための基礎資料づくりを行った。
石神	6	自治会役員の負担軽減について	村長	村民生活部	地域づくり推進課	①当日終了	地域ができることをやれる範囲でやっていただきたい。地域で行事の再検討が難しければ行政も一緒に考えていく。		
石神	7	農業の外国人技能実習生の受け入れについて	村長	産業部	農業政策課	①当日終了	村が直接関わっているものではない。市町村が絡むものがあれば、情報収集を行う。		
石神	8	秋田県仙北市と姉妹都市になることについて	村長・教育長	企画総務部	秘書広報課	①当日終了	現在、国内の友好都市はなく、友好都市にするには、きっかけとなる謂れがないと結ぶことができない。佐竹氏の関係で結ぶことは難しい。		
石神	8	秋田県仙北市と姉妹都市になることについて	村長・教育長	教育部	生涯学習課	①当日終了	石神城の研究をしていく中で機会があれば交流についても考える。		
石神	9	自治会で使用する回覧板について	村民生活部長	村民生活部	地域づくり推進課	①当日終了	以前は、村からの文書等の配布を自治会にお願いしており、回覧板も村で用意していたが、その制度は廃止された。新たな回覧板の購入については、村から各単位自治会に交付している交付金を利用して対応いただいている。		
石神	10	国体後の阿漕ヶ浦運動公園ホッケー場の利用について	建設部長	建設部	都市整備課	①当日終了	多目的に使用できる人工芝で整備しており、サッカーなどにも利用できる。		
白方	11	行政費用の削減・増加の調整について	企画総務部長	企画総務部	人事課	①当日終了	第5次行財政改革大綱に基づき推進している。		

地区名	番号	質問内容	回答者	担当課	分類	対応状況			備考	
						令和元年9月末現在	令和元年12月末	令和2年3月末		
白方	12	行政, 社会福祉協議会, 自治会間の調整役について	企画総務部長	村民生活部	地域づくり推進課	②対応済み	単位自治会, 地区自治会と課題等を共有し, より緊密に連携していく。			
白方	12	行政, 社会福祉協議会, 自治会間の調整役について	企画総務部長	福祉部	福祉総務部	②対応済み	社会福祉協議会とは, 毎月定例の打合せを実施し, 事業の進捗や課題等を共有している。また, 社会福祉協議会の予算については, 行政側ですべての事業について確認を行い, 最小の経費で最大の効果を上げられるよう精査しているところであり, 組織運営等に関する事項についても, 毎年事務指導を実施している。			
白方	13	自動車運転免許証返納への対応について	企画総務部長 村民生活部長	企画総務部	企画経営課	③継続検討等	路線バスやデマンドタクシーに加え, どのような移動手段が考えられるのか, 地域公共交通会議を中心に更なる検討を進めている。 (会議開催) ・第22回会議: 6/26 ・第23回会議: 11/20 ・第24回会議: 2月開催予定 また, ふるさと納税の返礼品の一つとして, タクシー利用チケットの発行についても検討を進めている。	路線バスやデマンドタクシーに加え, どのような移動手段が考えられるのか, 地域公共交通会議を中心に更なる検討を進めている。 (会議開催) ・第22回会議: 6/26 ・第23回会議: 11/20 ・第24回会議: 2月開催予定 また, ふるさと納税の返礼品の一つとして, タクシー利用チケットの発行についても引き続き検討を進めている。	路線バス・デマンドタクシーの改善や拡充の検討に加え, カーシェアリングなど多様な選択肢を検討している。	
白方	13	自動車運転免許証返納への対応について	企画総務部長 村民生活部長	村民生活部	環境政策課	③継続検討等	支援品の選択肢の追加について, 免許を返納した高齢者の移動支援に何が効果的か検討している。	同左	同左	
白方	14	高齢者の避難について	村長	福祉部	高齢福祉課	②対応済み	高齢者世帯等に配布している「救急医療情報キット」に記載の個々の医療情報, 避難所内での保健師等巡回時の被災者健康相談票, 看護記録の内容等から緊急を要する場合は速やかに医療機関につなげていく。			
白方	15	避難所への放射線測定装置の設置について	村長	村民生活部	防災原子力安全課	②対応済み	緊急時に使用する放射線測定器については, 表面汚染を計測するGMサーベイメータ12台, 空間放射線量率を測定するNaIシンチレーションサーベイメータ12台, 電離箱サーベイメータ12台をはじめとする放射線測定器(茨城県からの貸与)を役場庁舎に配備しているほか, 村が独自に整備しているγ線シンチレーションサーベイメータ8台や半導体検出器サーベイメータ16台を小中学校に, コンパクトサーベイメータ11台をコミセンや役場庁舎に配備し, 必要に応じて避難所等に運搬する。			
白方	16	さくらんぼ学童の付近の道路の整備について	建設部長	建設部	都市整備課	②対応済み	防犯灯設置の手続を行っている。(9月)	防犯灯の設置が完了した(12月)		

地区名	番号	質問内容	回答者		担当課	分類 ①当日終了 ②対応済み ③継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況			備考
							令和元年9月末現在	令和元年12月末	令和2年3月末	
白方	17	白方街道の常磐線踏切の対策について	建設部長	建設部	都市整備課	③継続検討等	白方街道踏切の安全対策に関する検討会を行い(4月)、白方街道踏切の安全対策について提案を受け、現地測量調査を行った。(9月)	関係機関と協議を継続中(R2年度末までに改良計画作成予定)	同左	
舟石川・船場	18	自衛隊による住民基本台帳の閲覧について	村長	福祉部	住民課	①当日終了	該当者について、住民基本台帳閲覧はさせているが、名簿提供はしていない。			
舟石川・船場	19	国道6号の4車線化後の歩道横断について	村長	建設部	都市整備課	③継続検討等	事業者である国(常陸河川国道事務所)と測量等実施のための説明会開催の準備を進めており、ある程度基本設計が出来上がった後、工事に関する地元説明会を実施し、その際に地域の要望等も伺うと聞いている。(9月)	測量・地質調査に係る地権者説明会を実施。(12/5及び12/8)今後、調査結果に基づき基本設計を実施し、4月以降となるが、工事に関する説明会を実施する予定。	同左	
舟石川・船場	20	デマンドタクシーの範囲拡大について	企画総務部長	企画総務部	企画経営課	③継続検討等	村外への移動手段の多様化については、デマンドタクシーや路線バス、JRなど既存の交通手段に加え、新たな移動手段の可能性についても、地域公共交通会議を中心に更なる検討を進める。	村外への移動手段の多様化については、デマンドタクシーや路線バス、JRなど既存の交通手段に加え、新たな移動手段の可能性についても、地域公共交通会議を中心に更なる検討を進めている。 (会議開催) ・第22回会議:6/26 ・第23回会議:11/20 ・第24回会議:2月開催予定	村外への移動手段の多様化については、デマンドタクシーや路線バス、JRなど既存の交通手段に加え、カーシェアリングなど多様な選択肢を検討している。	
舟石川・船場	21	自動車運転免許証返納時の支援について	村民生活部長	村民生活部	環境政策課	②対応済み	東海地区交番でも返納手続きは可能であるため、警察署への送迎支援は現時点では考えていない。			
舟石川・船場	22	舟石川近隣公園の駐車場整備について	建設部長	建設部	都市整備課	③継続検討等	舟石川近隣公園は身障者用駐車場を含め10台分の駐車場が整備されており、公園内に新たに駐車場スペースを確保するためには、芝生広場の減少や園路等を改修する必要があり難しいと考えている。	同左	同左	
舟石川・船場	23	太陽光発電システムのバッテリーに対する補助金について	村民生活部長	村民生活部	環境政策課	①当日終了	太陽光発電システムとの二重補助となるため、蓄電池への補助制度は現時点で考えていない。			
舟石川・船場	24	舟石川コミュニティセンター駐車場整備に伴う樹木の伐採について	村民生活部長	村民生活部	地域づくり推進課	①当日終了	災害時に避難される方の駐車場をより多く確保するため、舟石川コミセンの置かれている現状を踏まえ、村と地区自治会役員会で検討した結果、樹木を伐採することとした。			
舟石川・船場	25	亀下区及び緑ヶ丘区以外への(地域未来ビジョン)事業の拡大について	村民生活部長	村民生活部	地域づくり推進課	③継続検討等	亀下、緑ヶ丘区の今後の経過を見ながら判断していきたい。	同左	同左	
中丸	事前質問	中央排水路の閉水路化について	産業部長	産業部	農業政策課	①当日終了	今後の対応は、予算の状況を見ながら泥上げを含め村で管理する。管理方法については、現状のままの管理とする。			

地区名	番号	質問内容	回答者		担当課	分類 ①当日終了 ②対応済み ③継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況			備考
							令和元年9月末現在	令和元年12月末	令和2年3月末	
中丸	事前質問	中丸コミュニティセンターの駐車場整備について	産業部長 村民生活部長	産業部	農業政策課	③継続検討等	使用用途については、臨時駐車場の位置づけに変更はないが、土砂流出については残予算にて対応する。	同左	使用用途については、臨時駐車場の位置づけに変更はないが、土砂流出防止工事の実施。	
中丸	事前質問	中丸コミュニティセンターの駐車場整備について	産業部長 村民生活部長	村民生活部	地域づくり推進課	①当日終了	広域避難計画上では駐車場不足の認識はなく、駐車台数を増やす計画は検討していない。			
中丸	26	中央排水路の清掃費用について	産業部長	産業部	農業政策課	①当日終了	今後の対応は、予算の状況を見ながら泥上げを含め村で管理する。管理方法については、現状のままの管理とする。			
中丸	27	中丸コミュニティセンターの臨時駐車場を農産物出荷場として利用開始する時期について	村民生活部長	村民生活部	地域づくり推進課	③継続検討等	臨時駐車場の活用や、別な駐車場の整備の可能性について関係課と検討していく。	同左	関係課との話し合いを継続して行っている。なお、利用を休止しているコミセン南側の駐車場については、排水管の清掃を行い、駐車場として利用可能となるよう環境を整えた。	
中丸	27	中丸コミュニティセンターの臨時駐車場を農産物出荷場として利用開始する時期について	村民生活部長	産業部	農業政策課	③継続検討等	JA常陸と協議を行っている。	同左	同左	
中丸	28	(仮称)歴史と未来の交流館建設に伴う樹木の伐採について	村長	教育部	生涯学習課	①当日終了	事業を進めながらも理解促進の取り組みを進めていく。			
中丸	29	最終処分場の現状と将来計画について	村民生活部長	村民生活部	環境政策課	①当日終了	安定型、管理型双方ともに埋め立て継続中であるが、管理型は残容量が僅かであるため、民間の最終処分場を併用している。埋め立て完了後は緑地や公園等への転用を考えている。			
中丸	30	(仮称)歴史と未来の交流館のパンフレットについて	教育部長	教育部	生涯学習課	①当日終了	引き続き、村公式ホームページや広報とうかい等で、交流館活動や運営計画など、分かりやすい情報発信に努めていく。			
中丸	31	廃プラスチックの処分について	村民生活部長	村民生活部	環境政策課	①当日終了	清掃センターにて集約・選別したのち、専門業者に搬出・処理が行われている。			
中丸	32	須和間区内におけるメガソーラー計画に関する情報について	企画総務部長	建設部	都市整備課	③継続検討等	事業者に対し、事前協議書提出前に本件について関係する地区の住民説明会を実施するよう指導し、住民説明会が実施された。(8月) なお、須和間区においては、事業者に対し第2回目の説明会を開催するよう要請していると聞いている。(9月)	須和間区において、第2回住民説明会を実施した(10/27) 須和間区においては、第3回目の住民説明会の開催を事業者に要請し、現在調整中であるとのこと。(12月)	須和間区において、第3回住民説明会を実施した(2/11) その後、事業者と須和間区自治会間で事業の合意確認書を取り交わした。(2月)	
中丸	33	自治会加入率等について	村民生活部長	村民生活部	地域づくり推進課	③継続検討等	地域の方々からの声かけも加入率向上のための手立てのひとつと思われる。村としても地域活動を盛り上げるための研究は今後も行っていく。	同左	同左	

地区名	番号	質問内容	回答者		担当課	分類 ①当日終了 ②対応済み ③継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況			備考
							令和元年9月末現在	令和元年12月末	令和2年3月末	
村松	34	原子力安全協定について	村長	村民生活部	防災原子力安全課	③継続検討等	平成30年3月に締結した「日本原子力発電株式会社東海第二発電所の新規制基準適合に伴う稼働及び延長運転に係る原子力発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定」については、締結した6市村は「1市村でも同意がなければ、その先に進まない」と認識している。住民の意思確認の仕組みは作っていくが、現段階で方法は決まっていらない。	平成30年3月に締結した「日本原子力発電株式会社東海第二発電所の新規制基準適合に伴う稼働及び延長運転に係る原子力発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定」については、締結した6市村は「1市村でも同意がなければ、その先に進まない」と認識している。住民の意思確認の仕組みについては、引き続き研究していく。	平成30年3月に締結した「日本原子力発電株式会社東海第二発電所の新規制基準適合に伴う稼働及び延長運転に係る原子力発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定」については、締結した6市村は「1市村でも同意がなければ、その先に進まない」と認識している。住民の意向把握については、その一つの手法として、島根県松江市の「自分ごと化会議in松江」の事例を参考に、東海村での「自分ごと化会議」の具体化に向けた調査・研究を進めている。	
村松	35	村道の法面の除草回数・個別対応について	建設部長	建設部	都市整備課	③継続検討等	村道除草は、年2回、道路から1～2m程度を基準に道路交通に支障があるところや通学路などを計画的に行っている。また、周辺に支障がある場所については、状況に応じて個別対応していく。	同左	同左	
村松	36	暗い道路への外灯設置及び樹木の伐採について	建設部長	建設部	都市整備課	③継続検討等	現地を確認したところ、防犯灯を共架する電柱がないため設置が難しい状況だった。樹木の伐採については、個人が所有しており、村で対応することは難しいと考えている。現在、側溝の流れを阻害している状況は確認できなかったが、土砂や落ち葉などが溜りやすい箇所は、道路冠水の原因となるので計画的に清掃していく。	同左	同左	
村松	37	川根区の新川以外の2本の川の泥上げについて	産業部長	産業部	農業政策課	②対応済み	真崎浦土地改良区に内容を伝えた。			
村松	38	村議会議員の定数削減の意味及び検討方法について	議会事務局 議長 村長	議会事務局	議会事務局	①当日終了	議員定数及び報酬に関する調査特別委員会を計25回開催し、経費削減の観点から定数削減を決定した。			
村松	39	港湾を使った避難訓練について	村民生活部長	村民生活部	防災原子力安全課	①当日終了	原子力災害に備えた茨城県広域避難計画において、避難手段については、「フェリーなどあらゆる手段を検討する」と規定されており、避難手段の原則とされる自家用車での避難が困難な場合に、フェリーによる避難手段を確保するため、茨城県において検討を進めている。			

地区名	番号	質問内容	回答者	担当課	分類	対応状況			備考	
						令和元年9月末現在	令和元年12月末	令和2年3月末		
村松	40	健康増進法の改正による飲食店での喫煙について	副村長	福祉部	健康増進課	①当日終了	飲食店で新たに開設又は経営規模の大きな店舗については、①屋内禁煙、②喫煙専用室の設置、③加熱式たばこ専用の喫煙室の設置のいずれかとなる。既存の飲食店のうち経営規模の小さな店舗については、①屋内禁煙、②喫煙可能あるいは喫煙可能室等設置のいずれかとなる。 ※懇談会終了後、質問者へ廊下で回答済み。			
村松	41	国体開催時のシャトルバスの臨時駐車場について	教育部長	教育部	国体・スポーツ推進課	①当日終了	原子力機構本部を借用する。			
村松	42	村松地区の地域活性化について	村長	企画総務部	企画経営課	③継続検討等	村松地区の活性化については、地域住民との委員会活動や民間企業との対話を進めている。また、ひたちなか地区については、県やひたちなか市と連携し、活用方策について検討している段階である。	東海村(仮称)村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会において、活性化計画の策定が完了した。今後は、地域住民に計画内容を周知するとともに、住民や関係団体、行政が連携し、計画の具体化に向けた新たな組織を検討していく。また、ひたちなか地区については、県やひたちなか市と連携し、活用方策を検討している段階である。	同左	
村松	43	テニスコートの電話予約について	教育部長	教育部	国体・スポーツ推進課	③継続検討等	近隣市町村では、使用日まで時間が無い場合に電話予約を可としているところもある。対応体制も踏まえて引き続き検討する。	同左	電話予約を可とした場合、村外(県外含む)利用者の予約が増えることで村内利用者の予約が取りにくくなることから、地元優先の観点により窓口による予約受付としている。	
村松	44	防災無線の地域ごとの利用について	村民生活部長 企画総務部長	企画総務部	総務課	②対応済み	ひたちなか市へ防災行政無線の運用方法を確認。防災行政無線の分割放送は災害時以外行っていない。			
村松	44	防災無線の地域ごとの利用について	村民生活部長 企画総務部長	村民生活部	防災原子力安全課	③継続検討等	各屋外子局に備付けの自局放送による対応が可能か、電波法等制度を含め検討中。	同左	地域における防災の観点から、屋外支局を使つての自局放送による対応についてを検討中。	
村松	45	新川の水流について	産業部長	産業部	農業政策課	③継続検討等	第5期工事(R2年度)に予算要望中である。	同左	第5期工事(R3年度)の実施。	

※真崎地区自治会における村政懇談会について

真崎地区自治会では、3つのテーマに分かれて分科会方式で懇談を行い、その後分科会で出た意見を自治会長から報告していただきました。

各分科会から報告された主な意見は次のとおりです。

●第1分科会:子育て・教育について

- ・今後AIの活用によって、仕事がなくなっていくことが予想される。今の子どもたちはどのような能力を身に付ける必要があるのか。
- ・国体開催に当たり、「東海村に来て良かった」と言ってもらえるよう、地域としても協力は惜しまない。

●第2分科会:生活環境について

- ・国体の前にもう一度クリーン作戦をしようという話があった。全村で一斉にクリーン作戦をする際には、徹底してきれいになりたい。
- ・舟石川三区から原研通りに入る道は、抜け道として使われ交通量が多い。大型店舗も開店し、今後さらに交通量が増えることが予想される。事故が発生する前に整備してほしい。

●第3分科会について:高齢者福祉について

- ・免許返納時の支援品は1度きりなので、その後の支援品を検討してほしい。電動アシスト付四輪車、歩行補助器について、少しでも多く補助をしてもらいたい。
- ・会話をする機会が少なくなると認知症になるリスクが高まると言われているので、自ら外部の人と関わるこができることと良い。問いかけに答えてくれるロボットのようなものがあれば、1人でも会話ができる。企業等と協力して何かできると良い。